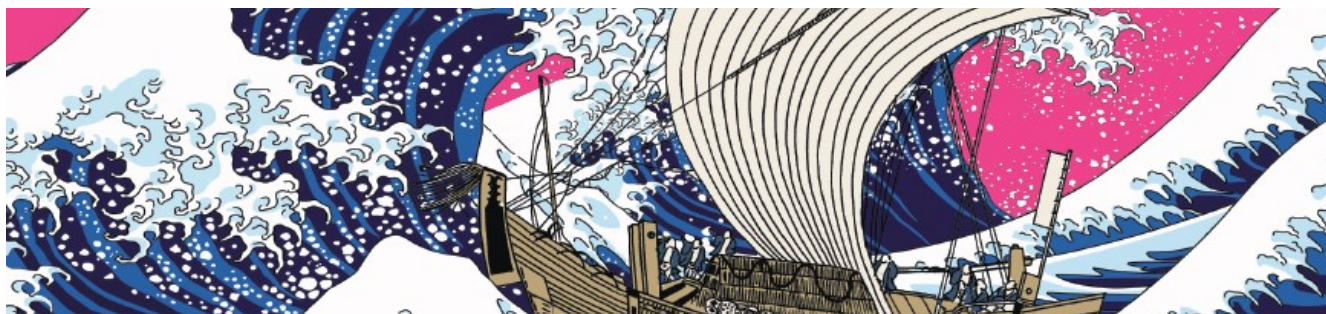


北前船フォーラム



○日時 令和3年7月10日(土) 午後2時～午後4時

○会場 リージョンプラザ上越 コンサートホール

次第

1 開会

2 教育長あいさつ

3 講演 高野宏康氏 小樽商科大学 グローカル戦略推進センター

「北前船の歴史的意義と魅力 ～北前船遺産を活かした地域振興の可能性～」

4 地元活動団体の活動報告

まちおこし直江津 代表 佐藤和夫氏

5 北前船が伝えた民俗芸能

べいだいしゅう

米大舟 夷浜米大舟保存会 舟踊会

ふなかたぶし 直江津舟方節 直江津民謡保存波路会

6 閉会

講演

「北前船の歴史的意義と魅力 ～北前船遺産を活かした地域振興の可能性～」

講師

高野 宏康 氏

国立大学法人 小樽商科大学

グローバル戦略推進センター研究支援部門

地域経済研究部 学術研究員 博士（歴史民俗資料学）



- 経歴 -

1974年、「北前船の里」として知られる石川県加賀市橋立町に生まれる。
曾祖父以前は北前船の船乗り。

明治大学文学部卒業。神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科博士後期課程修了。研究分野は北前船学、地域資源論、近現代史。

全国各地の北前船遺産の調査研究と活用による地域活性化事業に取り組む。北前船を切り口として、歴史研究と観光・地域振興をつなぐ活動を展開中。

【主な活動】

- ・小樽市北前船日本遺産を活用した with コロナ期対応型イベント実行委員会事業推進ディレクター（観光庁誘客多角化事業）
- ・北前船子ども洋上セミナー小樽実行委員会事務局長
- ・NPO法人歴史文化研究所代表理事
- ・小樽市日本遺産推進協議会ストーリー検討WG委員
- ・小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観審議会委員
- ・北海道遺産（第3次）審査委員
- ・小樽市観光基本計画（第2次）アドバイザー
- ・おたる案内人マイスター（観光ガイド）
- ・小樽梁川商店街活性化委員会委員（商店街振興）

（メモ）

地元活動団体

まちおこし直江津 代表 佐藤 和夫 氏

令和2年度上越市「地域の宝」認定
「北前船がはこんだもの」活動団体

平成24年結成

直江津の歴史文化を深く掘り下げ、文化的な側面から直江津の活性化を図るため、各種講演会や事業の企画運営を行う。

北前船の歴史を子ども向けにわかりやすくまとめた冊子「なおえつものがたり」や直江津の歴史的な偉人である福永十三郎の遺徳をしのぶ祭り、「四十物祭り」の企画運営などを行う。

北前船が伝えた民俗芸能

べいだいしゅう

米大舟 令和2年度上越市「地域の宝」認定

東から北前船の船乗りたちによって伝えられた。元唄は山形県の「酒田節」。「べいだいしゅう」の由来は北前船の船乗りたちは「弁財衆」（べんざいしゅう・べんざいしよ）と呼ばれていたがそれが訛って「べいだいしゅう」になったと考えられている。

酒田小屋の浜 米ならよかる 沖の米大舟に只積みよどネ
田舎なれども金谷の薬師 花の高田は目の下だどネ
寺の前の高灯籠見やれ 上げっ下げっの暇も無いネ

夷浜米大舟保存会 舟踊会

しゅうようかい

歌い踊り続けられてきた米大舟存続の危機に陥り、これを何とか存続させていくために昭和13年4月に町内全戸を会員とする夷浜米大舟保存会を設立。平成27年に下支え組織、舟踊会を結成。

直江津舟方節

ふなかつぶし

令和2年度上越市「地域の宝」認定

西から北前船の船乗りたちによって伝えられた。元唄は島根県の海岸部一帯と瀬戸内海の島々で今も唄われている「さんご節」から派生した「出雲節」といわれ、酒の席の騒ぎ唄として、形を変えながら日本海沿岸の港に伝わる。

娘十七 八嫁入り盛り タンス長持ハサミ箱 これ程持たせてやるからにや 嫁に行っても出てくるな もうお母さんそりや無理だ 西がくもれば雨となる 東がくもれば風となる 千石積んだる船でさえ 港出る時やまともども 彼が荒けりゃとこ母さん出て戻る

筆を柱にすざりを船に 書いたる船に帆を上げて 実と誠を山に積み 浮気な風にそよそよと 直江津に着いた時や どんな又彼でもいとやせぬ

直江津民謡保存波路会

なみじかい

大正11年に「直江津波路會」が設立。「越後追分」や「頸城松坂」「直江津甚句」などの保存、普及に努める。平成2、5、9年の日本郷土民謡協会の全国大会ではそれぞれ8、7、6位を獲得。平成27年の新潟県民謡協会大会では優勝をおさめる。

